

平成30年度 第1回 安曇野市協働のまちづくり推進基本方針
及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会 会議概要

1	審議会名	平成30年度第1回安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会
2	日時	平成30年7月6日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会場	本庁舎 3階 会議室301
4	出席者	栗田会長、細川副会長、磯野副会長、重野委員、大澤(慶)委員、山田(直)委員、大澤(克)委員、浅見委員、青柳委員、小澤委員、山田(百)委員、西澤委員、望月委員
5	市側出席者	宮澤市民生活部長、小林地域づくり課長、山田地域づくり課長補佐兼まちづくり推進係長、金子まちづくり推進係主査、土屋地域おこし協力隊
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成30年7月10日

協 議 事 項 等

1	<p>会議の概要</p> <p>委嘱書交付</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) あいさつ</p> <p>(3) 自己紹介</p> <p>(4) 安曇野市自治基本条例及び「協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」について</p> <p>(5) 報告事項</p> <p>①市民協働事業提案制度(平成31年度事業)について</p> <p>②平成30年度市民活動サポートセンター事業計画について</p> <p>(6) 審議</p> <p>①第2次「協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」策定に向けた方向性について</p> <p>(7) その他</p> <p>(8) 閉会</p>
---	---

2	<p>会議事項概要</p> <p>委嘱書交付(市民生活部長より)</p> <p>新委員3名:大澤慶哲委員(市区長会会長代理)</p> <p>大澤克己委員(市社会福祉協議会地域福祉課長)</p> <p>浅見郁子委員(前明科公民館長)</p> <p>(1) 開会(進行:磯野副会長)</p> <p>(2) あいさつ(栗田会長)</p> <p>(3) 自己紹介(新委員3名、土屋地域おこし協力隊より)</p> <p>(4) 安曇野市自治基本条例及び「協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」について</p> <p>※事務局より、安曇野市自治基本条例、また、「協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」について説明。</p>
---	---

(5) 報告事項

①市民協働事業提案制度（平成31年度事業）について

②平成30年度市民活動サポートセンター事業計画について

※事務局より、市民協働事業提案制度及び平成30年度市民活動サポートセンター事業計画について説明。

【会長】

- ・事務局より説明をいただいた。委員より質問等あればお願いしたい。

【委員】

- ・協働事業提案制度のテーマの1つである「協働のまちづくり市民活動支援事業」について、応募の見込みがあるのか。
- ・市民活動サポートセンター事業計画で、昨年度との変更点はどこか。

【事務局】

- ・「協働のまちづくり市民活動支援事業」については、1件応募について相談を受けている。
- ・市民活動サポートセンター事業計画の昨年度からの主な変更点は、登録団体から情報を提供いただく仕組みを設けること、登録団体のネットワークを強化し市民活動の推進を図ることを目的に「くるりん広場連絡会」を開催すること、登録団体の増加のため未登録団体を中心に取材活動を行うことを明記した点である。

【委員】

- ・市民協働事業提案制度による協働事業と各担当課で行われている協働事業との違い、また、市民が市と協働事業を行いたい場合の受け皿について知りたい。

【事務局】

- ・市民協働事業提案制度は、実施計画に基づき市が次年度行う事業について、市民と協働して実施したい事業をテーマとして挙げている。テーマを設定し公表することで、市がどういうことで協働したいと考えているのかを市民が知る機会となり、また具体的な事業提案にも期待できる。
- ・協働の受け皿について、市民よりご提案いただいたものは随時、各担当部署にて総合計画や個別計画、費用対効果等を考慮し、必要なものは実施している。例として不食器リサイクルは市民から提案をいただいて実施した事業の1つ。

【委員】

- ・市民への周知があまりされていないのではないか。
- ・市民協働事業提案制度のテーマの1つである「協働のまちづくり市民活動支援事業」は、市民活動サポートセンターが積極的に取り組むべきこと。

【委員】

- ・市民活動サポートセンターを設置した時にはモデルとなる施設があったのか。

【事務局】

- ・他市町村も参考にしながら設置について検討した。
- ・設置から10年以上、形を変えながら推進してきたが、センターの周知ができていない、また、機能も十分でない中で、第2次計画では協働の拠点としてしっかりと位置付けていきたい。

【委員】

- ・市民活動サポートセンターは本庁舎や支所と同じ建物の中に設置した方が市民の方にわかりやすく使いやすい場所となるのではないか。

【委員】

- ・場所は利便性を考えていただければ良い。
- ・秘書広報課で昨年度行ったアンケートでも、市の情報はほとんどの方が知らないと答えている。市民へ浸透させるためにも、工夫して情報発信を行ってほしい。

【委員】

- ・ 沢山の方には知っていただくためにも、大変ではあるが、市民活動サポートセンターで取材活動を積極的に行ったら良いと思う。
- ・ フードバンクも市から多くの協力をいただいている。そういう場でチラシ一枚でも周知できれば良いのではないかな。

【委員】

- ・ 旧5町村合併の背景には地域として責任を持ち自立するためという特色があり、協働のまちづくりが旗頭であった。そのため市民活動サポートセンターが必要となり設置した経過がある。
- ・ 当時は旧町村ごと5か所につくる案もあったが、まずは穂高に1か所つくった。しかし、中々事業の広がりも無く現在の状況である。
- ・ 社会福祉協議会だけでなく公民館との連携についても触れる必要がある。

【委員】

- ・ 新しい支所は公民館と一体となり、市民と行政が協働で活動しやすい建物をという発想のもと建てられている。5年が経ちこれまでの取り組みを見直す時期に来ている。
- ・ 区の部制度にも公民館がしっかりと位置づけられている。公民館は地域の方たちがそこを拠り所として様々な活動を発展させていく場であると考えている。
- ・ 社協、公民館は横の連携をしながらその地域に根差した活動をしていく要の一つになっていくべきであると思う。

【委員】

- ・ 昔やっていたように、各地区の問題点など、公民館で皆さんが話し合うようなことをやっていけば、安曇野市もより良くなっていくのではないかな。

【委員】

- ・ 公民館、社協があれば十分ではないかな。

【事務局】

- ・ 市民活動サポートセンターについて、協働を進めていくためには、場所もあるが、中身が最も重要になる。皆様のご意見をまとめて、第2次計画に反映させていきたい。

(6) 審議

①第2次「協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」策定に向けた方向性について

※事務局より説明。

【会長】

- ・ 事務局の説明を受けて、審議をお願いしたい。

【委員】

- ・ 第1次計画で人材バンクは生涯学習リーダーバンクに登録という施策であったが、少し方向が違うように思う。市民活動サポートセンターのホームページ上に人材バンクのデータを載せたら良いのではないかな。

【委員】

- ・ 各地域がそれぞれ頑張っている。市民活動サポートセンターは、その中の要としてあるべきだと考える。第2次計画の全体の方向性としては、第1次を基本とすべき。

【委員】

- ・ 今回は、全体の方向性についてということだが、事務局で示された通りが良いと思った。具体的な行動要領が重要で、ここは十分考えていく必要がある。

【会長】

- ・協働事業事例集については、具体的施策から行動要領へ移すということだが。

【事務局】

- ・協働事業事例集は、カテゴリーの中の戦術の一つであることから、情報発信施策の一つとして行動要領へ移していったらどうか、ということである。

【委員】

- ・まちづくりや人づくりは幼児教育からが大切だと思っている。情報発信の場所も、児童館など今ある施設を活かしていけば良いのではないか。

【委員】

- ・自治基本条例の「市民」と本計画の「市民」の定義の整合性はどうするのか。

【事務局】

- ・整合を図りたい。自治基本条例は「市民」の定義が幅広くなっているので、本計画に沿わない場合は、本計画における「市民」の定義を計画内に明確に記す。

【委員】

- ・自治基本条例では市議会も協働に位置付けられているがどうするか。

【事務局】

- ・市議会はその権能に基づき役割があり、議会基本条例で市民との協働を明確にされている。そこをあえて計画に盛り込むかどうかはご議論をいただく必要がある。基本的には、前段の部分で盛り込む必要があるかと思うが、具体的な基本方針や行動計画の中には、議会はこうあるべきということは入れられないと現状では考えている。

【委員】

- ・行政機関とはその中に議会という機関を網羅しているものと考えればすっきりする。

【委員】

- ・情報発信について、新聞折り込みはできないのか。

【事務局】

- ・協働に関する情報を単独で作成し新聞折り込みをするのは予算措置が必要になるので、全戸配付される「広報あづみの」の中に記事を作成していくことを考えている。

【委員】

- ・議会だよりや社協広報誌などに分散して掲載すれば、関心のある方の目に付きやすいのではないか。

【委員】

- ・市民活動サポートセンターのホームページを見たが、非常に見づらい。情報発信のため、もっと見やすいページに工夫していただいた方が良い。

(7) その他

【事務局】

- ・本日は、第2次計画の方向性を示させていただいた。次回（9月頃を予定）は素案を示す。各施策、また全体構成も含めてこうした方が良いということがあれば、ご意見をいただきたい。いただいた内容について反映できるものは反映させた上で素案を示したい。

(8) 閉会

【副会長】

- ・慎重審議に感謝する。いよいよ計画の編集作業が始まる。委員会の機会だけでなく、何回でも構わないので、文書等にて事務局へ率直な意見を寄せていただきたい。